

大野城市

# 議会だより

2026 令和8年  
No.172

発行 大野城市議会  
編集 広報委員会  
令和8年2月15日

12

12月定例会



大野城市議会  
ホームページ



## 議会報告会を開催しました



市民とともに歩む議会だより

次号173号  
令和8年  
5月15日発行

あなたの写真で  
議会だよりの紙面を  
飾ってみませんか？  
(締切り 3月13日)

### 主な記事

- 12月定例会 ..... P2～3
- 委員会レポート ..... P4～5
- 特別委員会（給食） ..... P6
- 一般質問 ..... P6～13
- 議会報告会 ..... P14
- 議場見学会など議会活動 ..... P15

# 12月定例会

令和7年12月定例会を12月1日(月)から12月17日(水)まで開催  
28の案件を審議し、全ての案件を可決、採択しました。  
審議結果の採決の様様は大野城市議会ホームページ「令和7年第6回12月定例会」  
(右の二次元コード)から映像を見ることができます。



## 審議結果一覧

令和7年12月定例会

| 議案番号    | 件名   | 議決結果                 | 付託委員会   | 議決月日     |
|---------|--|----------------------|---------|----------|
| 第77号議案  | 大野城市重度障がい者医療費の支給に関する条例及び大野城市障がい者支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 全会一致可決               | 福祉教育委員会 | R7.12.17 |
| 第78号議案  | 筑紫地区介護認定審査会事業特別会計条例を廃止する条例の制定について                                    | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第79号議案  | 大野城市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について   | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第80号議案  | 大野城市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について                                       | //                   | 都市経済委員会 | R7.12.17 |
| 第81号議案  | 大野城市道路条例等の一部を改正する条例の制定について   | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第82号議案  | 大野城市高架下周辺施設の設置及び管理に関する条例の制定について                                      | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第83号議案  | 指定管理者の指定について(大野城まどかびあ)   | 賛成多数可決<br>(賛成15・反対4) | 総務政策委員会 | R7.12.17 |
| 第84号議案  | 財産の取得について(避難所用備蓄品購入)   | 全会一致可決               | //      | R7.12.17 |
| 第85号議案  | 令和7年度大野城市一般会計補正予算(第7号)について   | //                   | 予算委員会   | R7.12.17 |
| 第86号議案  | 令和7年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について                                     | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第87号議案  | 令和7年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第2号)について                                       | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第88号議案  | 令和7年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について                                    | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第89号議案  | 令和7年度大野城市水道事業会計補正予算(第2号)について   | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第90号議案  | 令和7年度大野城市下水道事業会計補正予算(第2号)について  | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第91号議案  | 大野城市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について                          | 賛成多数可決<br>(賛成18・反対1) | 総務政策委員会 | R7.12.17 |
| 第92号議案  | 大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について                                | 賛成多数可決<br>(賛成18・反対1) | //      | R7.12.17 |
| 第93号議案  | 大野城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について                                    | 全会一致可決               | //      | R7.12.17 |
| 第94号議案  | 財産の取得について(災害用備蓄品購入)  | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第95号議案  | 令和7年度大野城市一般会計補正予算(第8号)について   | //                   | 予算委員会   | R7.12.17 |
| 第96号議案  | 令和7年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について                                     | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第97号議案  | 令和7年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第3号)について                                       | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第98号議案  | 令和7年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について                                    | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第99号議案  | 令和7年度大野城市水道事業会計補正予算(第3号)について   | //                   | //      | R7.12.17 |
| 第100号議案 | 令和7年度大野城市下水道事業会計補正予算(第3号)について  | //                   | //      | R7.12.17 |
| 請願第5号   | 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出を求める請願書                                | 全会一致採択               | 総務政策委員会 | R7.12.17 |
| 請願第6号   | 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める請願書                                 | //                   | //      | R7.12.17 |
| 意見書案第3号 | 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出について                                   | 全会一致可決               | //      | R7.12.17 |
| 意見書案第4号 | 最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について                                    | //                   | //      | R7.12.17 |

## 賛否の分かれた議案

令和7年第6回12月定例会 審議結果

| 議員氏名   | 自民大野城 |    |    |    | 公明党 |    |    |    | 未来フォーラム |    |    | 市民クラブ |    | 自民まどか |   | 自民御笠 |    | 松田 |    |    |   |
|--------|-------|----|----|----|-----|----|----|----|---------|----|----|-------|----|-------|---|------|----|----|----|----|---|
|        | 山上    | 平井 | 平田 | 岡部 | 原田  | 大塚 | 井上 | 河村 | 神田      | 松崎 | 永利 | 河野    | 松崎 | 福澤    | 森 | 井福   | 関井 |    | 中村 | 中村 |   |
| 第83号議案 | ●     | -  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○       | ○  | ○  | ○     | ○  | ○     | ● | ●    | ○  | ●  | ○  | ○  |   |
| 第91号議案 | ○     | -  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○       | ○  | ○  | ○     | ○  | ○     | ○ | ○    | ○  | ○  | ○  | ●  | ○ |
| 第92号議案 | ○     | -  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○       | ○  | ○  | ○     | ○  | ○     | ○ | ○    | ○  | ○  | ○  | ●  | ○ |

(○：賛成、●：反対、退：退席、-：議長は表決に加わらないため)

— 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

|       |  |
|-------|--|
| 陳情第6号 | 予防接種後副反応疑い報告書(写し)の接種者本人等に送付することに関する陳情書 |
| 陳情第7号 | シルバー人材センター事業の推進について(お願い)               |
| 陳情第8号 | 学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い                |
| 陳情第9号 | 大野城市立中学校における全員制給食実施に際しての陳情書            |

議会の動き

11月21日 議会運営委員会

12月 1日 本会議(1日目)

全員協議会

広報委員会

4日 本会議(2日目)

今後の学校給食のあり方に関する

調査特別委員会

5日 総務政策委員会

福祉教育委員会

8日 都市経済委員会

9日 予算委員会

11日 本会議(3日目)

12日 本会議(4日目)

17日 議会運営委員会

本会議(5日目)

総務政策委員会

予算委員会

全員協議会

今後の学校給食のあり方に関する

調査特別委員会

1月13日 議会運営協議会

広報委員会

15日~16日 福岡都市圏議長会視察研修会

(岡山県)

20日 臨時会

予算委員会

全員協議会

議員研修会

広報委員会

28日 今後の学校給食のあり方に関する

調査特別委員会

2月 5日 会派代表者会議

12日 議会運営委員会



次回開催予定 令和8年3月定例会(予定)

2月19日(木) 10:00~ 本会議 提案理由説明

3月 2日(月) 9:30~ 本会議 代表質問・質疑・付託

13:30~ 総務政策委員会

3日(火) 10:00~ 福祉教育委員会

13:30~ 都市経済委員会

4(水)~9日(月) 9:00~ 予算委員会 ※令和8年度当初予算審査

11日(水)~12日(木) 9:30~ 本会議 一般質問

18日(水) 10:00~ 本会議 報告・討論・採決



視察来庁

★ 大野城市のスポーツ推進計画について  
(1月15日 鹿児島県日置市)

★ あんしんまどか(高齢者ICT見守り)事業について  
(1月21日 埼玉県狭山市)



## 計画的に災害への備えを

総務政策委員会

第84号議案  
財産の取得（避難所用備蓄品購入）について



避難所用の備蓄品として、電動式簡易トイレ52基、電動式簡易トイレ用テント55張り、発電機10台、可搬型蓄電池55台、パーティション418張り、プライベートルーム7張りを購入するもの。

問 災害発生時の避難者数の見込みは

答 発災直後の最も多い避難者数は1万5500人を見込んでいる。

問 備蓄品の数量の基準は

答 食料品であれば、1万5500人の1日2食分を想定している。その他、各コミュニティセンター等の避難所の資機材の数は県のアセスメントの人数である2300人分を想定している。

問 新たに購入する備蓄品の保管場所は

答 新たに設置する大池の備蓄倉庫や各コミュニティセンターに分散して保管する予定である。

問 契約が指名競争入札であるが何社指名したのか。

答 入札の指名業者数は11社であり、そのうち実際に入札に参加した業者数は6社である。

問 トイレトラックなどの導入の検討は行っているのか

答 簡易トイレの備蓄と並行して、トイレトラック等の導入の検討を行っている。



## 多様化学校の名称が「みずほ中学校」に

福祉教育委員会

第79号議案  
大野城市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について



学びの多様化学校である「みずほ中学校」が、大野中学校の分校として、令和8年4月に開校することから、中学校の名称及び位置を追加するもの。

問 入学式、卒業式は大野中に準ずるのか

答 遅れての開校、入学式となる。卒業式の日程は現在のところ未定である。

問 給食、部活動、修学旅行、PTA活動、文化行事・体育行事はどのようになっているか

答 給食はランチ給食が提供できるよう調整中である。部活動の実施の予定はなく、修学旅

行は初年度においては、現在のところ計画していない。PTA活動は、保護者の皆さんと連携して関わりを強めていけるような体制を検討していきたい。また、文化行事に関しては、総合的な学習や新しい教科のコラボタイムなどで、地域の方と連携して様々な取り組みの発表を年度末頃に予定している。体育行事は現在のところ計画していない。

問 学校説明会や学校体験会の参加状況はどうなっているか

答 学校説明会を今年度3回開催し122名が参加した。学校体験会には23名の児童生徒が参加している。

問 健康診断はどうなっているか

答 大野中の養護教諭と連携して他中学校と同じ形で行うようにしている。

## 高架下周辺の施設は指定管理で

都市経済委員会

### 第81号議案

大野城市道路条例等の一部を改正する条例の制定について



令和9年4月に施設供用開始予定の高架下等整備・運営事業において、指定管理者に施設管理や、自転車駐車場の利用料金を徴収させることを可能とするなどの条例改正を行うもの。

#### 問 指定管理者の選定方法は

答 今回の事業は設計・施工と指定管理が一体になっている民間活用事業である。その事業者を公募した際、指定管理を担う経験、資格を有しているか審査を行った。

### 第82号議案

大野城市高架下周辺施設の設置及び管理に関する条例の制定について



高架下に整備する広場、遊歩道、多目的施設などの施設の設置及び管理に関する事項を定めるもの。

#### 問 指定管理者が行うにぎわい創出事業とは

答 高架下周辺に人々が集まるきっかけづくりになる大小様々なイベントを実施するよう義務づけている事業である。

#### 問 指定管理者と市のにぎわい創出事業に関連する団体との連携について

答 市内各団体とは、高架下周辺まちづくり連絡会議で情報交換し、事業を進めている。今後とも持続的に整えていく。

## 学びの多様化学校と水道管路耐震化

予算委員会

### 第85号議案

令和7年度大野城市一般会計補正予算(第7号)について



令和8年4月に開校予定の「学びの多様化学校」に必要な費用を追加するもの。(複数案件より抜粋)

問 9月と12月に相次いで補正予算が組まれ、合計で1億円を超える事業費が計上された。どちらも施設改修や学校備品の購入が含まれているが、計画的な予算計上が出来ていたのか

答 当初は既存設備の活用を予定していたが、先進的な自治体の視察を行い、その学習環境を参考とした。「学びの多様化学校」の目的に沿い、より柔軟で快適な環境が必要と判断し、内装や家具の見直しを行った。9月と12月の補正予算では内容に重複はなく、学習や行事参加の充実が更に高まるように計上している。

### 第89号議案

令和7年度大野城市水道事業会計補正予算(第2号)について



水道管路の耐震化に係る地方財政措置の拡充に伴い、一般会計からの負担金を追加するもの。(複数案件より抜粋)

問 この負担金は、どのような事業に充てられるのか

答 災害に強い水道インフラを整備するために、現在施工中の下大利南ヶ丘線の水道管路耐震化工事と、雉子ヶ尾配水池につながる配水管・送水管の耐震化に向けた設計業務に充てる。

問 水道施設の耐震化は今後も継続されるのか

答 令和7年1月に「上下水道耐震化計画」を策定しており、防災拠点や避難所に接続した管路を順次耐震化する。第1期工事は令和21年度までを整備期間とし、重点的に進める予定である。

# ✓ 特別委員会始動!

「今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会」は、昨年10月31日から議員の代表10名により始動しました。

今後の学校給食が更により良い形に出来るよう頑張っています。



## ～これからの大野城を問う～ 一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。

各議員の  
タイトルにある  
二次元コードから  
映像を見ることが  
できます。



| 氏名     | 件名  |
|--------|---|
| 山上 高 昭 | ★まどかぴあ多目的ホール及び公共施設の選挙利用に関する事実関係と適法性について<br>・終戦80周年について        |
| 平田 不二香 | ★いくつになっても安心して暮らせる大野城市であるために                                   |
| 福澤 信 光 | ★大野城市民総ぐるみ防災訓練の検証とこれから<br>・人事異動について                           |
| 森 和 也  | ★他の組織との関わりについて  |
| 永利 恭 子 | ★公共施設の管理等を直営で行う場合と民間を活用する場合の違いについて<br>・非核平和都市宣言について           |
| 大塚 みどり | ★保育の現状と今後の方向性について   |
| 岡部 かおり | ★大野城市市民公益活動促進プラットフォームまどかぴらっとについて<br>・水城駅バリアフリー化の進展について        |
| 河野 敏 生 | ★災害発生時等におけるキャンピングカーの提供に関する協定について<br>・不登校の子どもへの社会的自立の取組について    |
| 中村 真 一 | ★特殊詐欺対策について   |
| 河村 康 之 | ★障がいのある方が安心して暮らすことの出来る大野城市に<br>・来年開設30周年を迎える「大野城まどかぴあ」の利用について |
| 中村 慎一朗 | ★中学校の学校給食における可能性について<br>・就職氷河期世代を含む特定不妊治療支援制度の拡充について          |
| 原田 真 光 | ★職員の働きやすい環境を整える施策について<br>・通学路の安全確保と教育の充実について                  |
| 松崎 百合子 | ★芸術文化振興と地域共生社会の推進について   |



映像はこちら

## 正せ!! 情報公開のブラックボックス化

やまがみ たかあき  
山上 高昭



### 問 まどかぴあ多目的ホールの使用許可書について

答 指定管理者（公益財団法人大野城まどかぴあ）が保有する文書であり、本市の公文書ではないため、確認できる事実はない。

### 問 通告に基づいて回答を求める

答 使用許可書は指定管理者が保有する文書であり、本市の公文書ではないため、確認できる事実はない。また、他の情報については個人情報となるため、回答はできない。

### 問 日付が個人情報に当たる根拠は

答 新聞やYouTubeなどの他の情報と照合することによって個人が識別されるものは個人情報であると定められている。

### 問 個人情報の保護に関する法律第2条の規定を拡大解釈していないか

答 拡大して解釈はしてない。他の情報において個人が識別されると判断している。

### 問 使用料・時間が個人情報になる理由は

答 使用料・時間は、使われた個人の情報であり個人情報になり得る。

### 問 許可書名は個人情報の部分のみ黒塗りにして開示するべきではないか

答 大野城まどかぴあの文書であり、開示請求に係る公文書を本市は保有していないことから不開示とした。

### 問 まどかぴあが直営であれば、使用許可書を開示できるのか

答 市の情報公開条例に基づいて適切に判断する。

### 問 まどかぴあの指定管理によって、情報公開がブラックボックス化していないか

答 市の情報公開条例や個人情報保護に関する法律、また公益財団法人大野城まどかぴあ個人情報保護規程に基づき適切に対応をしている。



映像はこちら

## 公営の永代供養型樹木葬の整備を

ひらた ふじか  
平田 不二香



### 問 死後事務委任契約の内容と仕組みは

答 亡くなった後に発生する葬儀や遺品整理、行政への届出などの様々な事務手続きを、あらかじめ本人が信頼できる人物や団体に委任する契約のこと。本人の意志能力があるうちに結ぶ必要があり、本人が死亡した際に効力が発生し、委任された事務が全て完了するまで継続する。

### 問 本市の死後事務委任事業化の進捗状況は

答 市民に対してワンストップで支援する仕組みなど、先進自治体の取組を参考に早期の事業化に向けて検討を進めている。

### 問 長年放置されてきた本市所有の牛頸の墓地（広さ約3,000㎡）に永代供養型樹木葬を整備してはどうか

答 墓地の在り方も含む本市での終活支援の論議を深め、将来を見据えた対応の検討を進める。

### 問 市民のニーズの把握はしているか、また終活支援の論議について今後の具体的なスケジュールは

答 少子高齢化や家族形態などの社会情勢の変化を踏まえると、安心して埋葬することができる埋葬先の潜在的なニーズは一定数あるものと捉えている。終活支援の論議は墓地を所管する循環型社会推進課が主体となって行い、具体的には、来年度から高齢者部署などとの協議や近隣自治体の動向調査等を進め、令和9年度を目途に需要調査等を行い市民ニーズの把握を進める。





映像は「11月」

## 大野城市民総ぐるみ防災訓練の検証とこれから！

ふくざわ のぶみつ  
福澤 信光



### 問 大野城市民総ぐるみ防災訓練の目的と対象は

答 子どもから高齢者まで全ての市民の生命、身体を守る適切な避難行動の促進を図ることを目的としており、対象者は全市民である。

### 問 逃げタオルについてどのように考えるか

答 避難の際にタオルを玄関などの目立つ場所に掲げることで、当該世帯が既に避難を完了していることを一目で確認できる仕組みで、近隣住民による声かけ、安否確認の促進や消防などの救助隊の搜索活動の効率化につながるものとする。

問 逃げタオルについて、大野城市独自の逃げタオルに代わる防災グッズとして、タオルではなく、例えばリング式のようなものを作り、平時にはこれを荷物かけなどに活用、避難するときはそのリングをドアノブにかけるといった考えはどうか

答 逃げタオル運動はどの家庭にも身近にあるタオルを利用することで、緊急時でもすぐに使用することができ、迅速な避難行動につながるものとする。

逃げタオル運動の実施方法については、今後も訓練参加者等の意見を伺いながら、より効果的なものとなるよう検証を続ける。

### 問 大野城市全員参加を目指すために今後どのような事が考えられるか

答 訓練の時間を見直し、令和6年度に比べ参加者が約5000人増加した。今後も訓練結果を検証するとともに、実行委員会や参加者のご意見を伺いながら訓練時間や内容を工夫し、引き続き参加者増に向けた取組を進める。



逃げタオルの例  
(大野城市ホームページより)



映像は「11月」

## ベンチを設置し「やすらぎのあるまち」へ！

もり かず や  
森 和也



問 市民の方から要望されている春日原駅構内にベンチを設置するための手順は

答 駅構内のベンチ設置については、施設管理者である西鉄に設置要望を行っていくことになる。

問 東京都三鷹市では、ベンチのあるみちづくり整備事業をすすめている。設置場所は、バス停付近や住民の要望に基づき設置しており、広い歩道がある幹線道路では、約100メートルから200メートル間隔を目標に連続的な設置を、河川や遊歩道では、約50メートルから100メートル間隔での設置を目指している。近年、高齢化が進み、高齢者等に優しいまちづくりが注目され、歩道等にベンチを設置する取組が広がっている。健康で生き生きとした生活を送ることができ、高齢者が安心して外出できる地域づくり

が重要である。本市もバス停、歩道や駅周辺、御笠川、牛頸川、平野川沿いなど、休憩スペースや地域の交流の場として、ベンチの設置を進めていきたいと考えるが、市長の考えは

答 ベンチの設置は、移動途中の休憩や交流の場となり、外出の促進や円滑な移動につながる。今後、全ての人が外出しやすい優しいまちづくりを目指していくためにも、ベンチの設置に努めていく。





映像は「12月」

## 公共施設の管理等で民間を活用する場合

ながとし きょうこ  
永利 恭子

### 問 民間活用のメリットは

**答** 業務委託は、受託者が定められた範囲内で業務を行うもので、市役所窓口の受付や小学校の給食調理などで活用している。指定管理者制度は、公の施設の管理運営で民間事業者等を指定し、施設の利用許可や利用料金の収受などを行うもので、大野城まどかぴあや大野城総合公園等72施設がある。

民間事業者等に蓄積されたノウハウを活用し、多様化するニーズに応え市民サービスの向上につながり、財政支出の縮減や平準化、職員の業務量削減なども期待される。

### 問 事業方式を変更した例は

**答** 平成23年度からコミュニティセンターを市の直営から指定管理者制度に変更した。

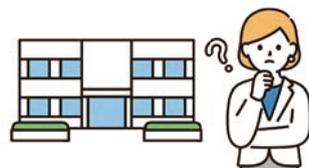
### 問 心のふるさと館が直営の理由は

**答** 郷土の歴史に対する理解及び継承、市民の交流促進、市内外への情報発信、にぎわい創出のために、関係団体や市内の関係各課との連携が不可欠である。市の直営により連携を円滑に推進することができ、地域の特性や市民のニーズを迅速に反映した柔軟な運営が可能となる。

### 問 心のふるさと館に指定管理者制度を導入できないか

**答** 市内遺跡の発掘調査など専門的な技術や知識を要する業務は、専門職が対応する必要があり市の直営が望ましい。

一方、施設の管理やイベントの実施など民間のノウハウを活用できる業務は、他の類似施設などを参考に調査研究を重ね、将来的な指定管理制度の導入についても慎重に検討を進めていきたい。



映像は「12月」

## 認定こども園を軸にした保育施策の展望へ

おかつか みどり  
大塚 みどり

### 問 保育ニーズの多様化や年度末における保育施設の受け入れに限界が見られる現状を踏まえ、今後の子育て支援施策に対する市長の基本的な考えは

**答** 共働き世帯の増加により保育ニーズが高まり、年度途中の待機児童が発生している。今後も受け入れ体制の強化や保護者の経済的負担の軽減に努め、保育サービスのさらなる充実に取り組む。

### 問 本市における幼保連携型認定こども園導入の経緯は

**答** 待機児童の解消に向けた定員拡充の一環として導入。平成30年度に大野幼稚園、翌31年度には大野東幼稚園と筑紫幼稚園の計3園を移行した。

### 問 幼稚園型と保育所型の認定こども園の制度上の違いは

**答** 認定こども園は、教育と保育を一体的に行い、地域の子育て支援も担う施設である。幼稚園型は

認可幼稚園に保育機能を加え地域の保育の受皿を担う。保育所型は認可保育所に教育機能を加え、保護者の就労状況等に柔軟に対応できる。

### 問 市内に認定こども園への移行を希望する保育園はあるか

**答** 現在、認可保育所4園から移行に関する相談を受けている。

### 問 国が推進する保育所型認定こども園について、本市でも導入を検討すべきではないか

**答** 今後は幼児教育の重要性や教育・保育ニーズの多様化への対応が求められることから、保育所を含む既存施設の認定こども園への移行について、本市の実情を踏まえて検討していく。

育児も仕事もイキイキと!





映像は「11月1日」

## まどぷらでポイ活を!!

おか べ 岡 部 かおり



### 問 まどぷら(まどかぷらっと)とは何か

**答** 公益活動の見える化や活性化を目的に、平成31年4月に開始した市民公益活動促進プラットフォーム事業の仕組みの一つで、公益活動に参加するきっかけづくりや活動のやりがいの創出、幅広い世代への参加促進につなげるため、市民公益活動に参加した方にポイントを付与する制度である。

### 問 交換する商品のほとんどが、心のふるさと館で販売しているものである。心のふるさと館でポイントが利用できれば、地域施設利用や交流促進にもつながると考えるが、公共施設での利用拡大や今後の方向性について市長の考えは

**答** まどぷらポイントを心のふるさと館で利用できるようにすることは、ポイント交換の利便性向上に加え、地域施設の利用促進や市民交流の活性化にもつながる。今後、心のふるさと館におけるポイント交換の実施や貸し館利用料、特別展観覧料として使用可

能なクーポン券を交換メニューに追加するよう進めていく。

市民公益活動促進プラットフォーム事業は、市民の公益活動を支え、まちづくりの根幹であるコミュニティによるまちづくりを推進する上で、重要な役割を果たしていると考えられる。より多くの方に主体的に地域活動に参加していただけるよう、事業周知の徹底を図り、まどぷらポイントの在り方などの課題を整理し、制度のさらなる充実と定着に努める。



まどかぷらっと案内チラシより



映像は「11月1日」

## 災害弱者対応とキャンピングカーの提供協定

かわの とし お 河野 敏生



### 問 本市における災害弱者の人数は

**答** 高齢者約1万4800人、障がい者約1400人、介護が必要な方約2000人、医療的ケア児(市の支援事業を利用している対象者数)6人である。

### 問 災害弱者に対する取組の内容とその予算は

**答** 災害時に適切な避難行動を行うための対象者名簿の整備や個別避難計画を作成するため約754万7000円の予算を計上。また、介護食や離乳食、ミルク、紙おむつ、身体障がい者対応の簡易トイレなど、多様なニーズに対応した備蓄品を整備するため約2066万2000円の予算を計上している。

**問** 熊本地震の際、一般社団法人日本RV協会(JRVA)から提供されたキャンピングカーによる医療現場での活動や支援が行われた。県内では岡垣町、遠賀町、太宰府市、宗像市などが災害協定を締結しており、ローコストもしくは無償で災害対策としてキャンピングカーが準備できるのであ

れば、協定を結ぶことはとても有用と思うが、本市としての考えは

**答** 配慮を要する方々のための避難所として4か所のコミュニティセンターやすこやか交流プラザ、まなびのやど、市内の介護施設や障がい者支援施設を確保している。しかし、配慮を要する方々の避難所や簡易的な診療所、県外などからの支援者の宿泊施設などとしてキャンピングカーを活用することも考えられるため、協定の締結について、今後検討をしていきたい。



熊本地震の際に提供されたキャンピングカー  
(日本RV協会ホームページより)



映像はこちら

## 電話でお金の話は特殊詐欺です

なかむら 真一



**問** 春日署管内における過去3年の特殊詐欺の発生件数は

**答** 令和5年34件、令和6年131件、令和7年10月末現在131件である。

**問** 特殊詐欺被害の属性分析や特殊詐欺被害防止に向けた啓発は行っているか

**答** 被害金額や被害対象者等の状況分析された内容が春日警察署から市に情報提供されている。詐欺手口の特徴や防止対策を市民の皆様にはわかりやすく寸劇を活用して紹介し、福祉関係者などに向けたチラシを配布している。また、ホームページや市広報での注意喚起なども行い、被害防止に努めている。

**問** 詐欺対策電話機の設置の補助や機器の貸出し等は行っているか

**答** 令和6年8月から65歳以上の市民を対象として、特殊詐欺被害防止機能付き電話機の購入費用に対する補助と電話機の貸出しを行っている。

**問** 特殊詐欺被害防止機能付き電話機購入費用に対する補助金額と実績は

**答** 特殊詐欺被害防止機能付き電話機の購入費用に対する補助金は1万円を上限としている。令和6年度の実績は事業開始からの8ヶ月で36件、補助総額35万9900円。令和7年度は11月末現在で20件、補助総額19万8500円である。



電話対応ハンドブック(福岡県警ホームページより)



映像はこちら

## 「手話は言語です」手話の理解と普及を!

かわむら やす 康之



**問** 令和5年3月、福岡県に手話言語条例が制定されたが、県内や本市では、何がどのように変わったのか

**答** 福岡県では広報誌への手話イラストの掲載、手話通訳者研修の講師養成研修及び手話通訳者スキルアップ研修の開催など、ろう者が日常生活や社会生活で手話を使いやすい環境の整備や事業を新たに実施している。なお、本市では県条例の制定以前から福祉サービス課窓口への手話通訳者の配置や登録手話通訳者の派遣等の取組を行っている。

**問** 本市は手話の普及に向けてどのようなことを行っているか。また、今後さらなる普及に向けての検討は

**答** 現在行っている手話奉仕員養成講座等の事業を今後も継続していくとともに、手話に対する市民の理解・関心を深めるため、市広報やまどかフェスティバル等のイベントでの啓発を進めていく。

**問** 本年開催され大成功を収めた東京デフリンピックの出場選手を市内の学校などに招いて、手話の普及と交流学习、そして講演などを行ってはどうか

**答** デフスポーツは聴覚障がいのある方々がその能力を最大限に発揮し、社会とのつながりの中で自己実現を果たせる重要な機会であり、デフリンピックの開催は、聴覚障がいへの理解を深める契機となるだけでなく、スポーツの持つ力で社会全体により影響を与えるきっかけともなり得る。また、デフリンピック選手との交流学习は、小中学校における教育活動を展開していく上でとても有効であると考えため、小中学校と実施に向けた協議を進めたい。





映像は11月17日

## いま、未来の子ども達のための給食を！

なかむら しんいちろう  
中村 慎一郎



**問** 中学校給食調理を親子方式により実施する場合の生徒数に応じた必要面積の目安や施設構成の基準は

**答** 文部科学省が定める学校給食施設基準では、1001人から2000人の規模の場合、共同調理場の面積は884㎡が目安とされている。また、調理室以外に炊飯給食施設やアレルギー食に対応するための場所、食器や調理器具を洗浄や保管する場所、調理員の更衣や休憩をする場所などが必要と考える。

**問** 市長が理想的な給食として考える元となった過去の視察経験などは

**答** 直方市立の中学校が選択制給食から全員制給食へ提供方法を見直した事例等を聞いている。また、選択制給食から全員制給食に見直された太宰府市立の中学校を視察している。

**問** 中間市が他校へ給食を配送するに当たり、小学校の給食調理場が工場の用途に該当するため、学校給食共同調理場等に係る建築基準法第48条の特例許可を取得することによって親子方式を実現させた事例があるが把握しているか

**答** 学校給食の共同調理場に係る建築基準法第48条については、福岡県が住居系の用途地域において、住居の環境を害するおそれがないと認め、または公益上やむを得ない場合には、特例許可を出す場合があり、国土交通省の通知や、中間市の事例も含めて把握している。



映像は11月17日

## 職員の働きやすい環境作り

はらだ まさみつ  
原田 真光



**問** カムバック制度（自治体退職者復職制度）のメリット及びデメリットは

**答** カムバック制度は、一度退職した職員を対象に試験を実施し再雇用する制度であり、即戦力となる人材を確保できるというメリットがある一方で、ほかの試験区分で採用された職員との競争性や公平性を担保することが難しいというデメリットがある。

**問** 本市でもカムバック制度を導入すべきだと考えるが、市長の見解は

**答** 制度のメリット及びデメリットを精査しながら、導入について前向きに検討する。

**問** 市職員の視察及び研修制度の創設を検討すべきと考えるが、市長の見解は

**答** 先進地視察については、先進自治体の優れた取組を実際に見て、それを施策に反映させるためにも必要であると考えており、早期の予算化に向けて検討する。

職員の派遣研修について、現在、市では各研修機関での研修受講を通して職員の育成に努めている。受講者の選定に当たっては、受講する職員本人や所属長の希望を確認した上で最適な研修を受講できるよう、調整を行っている。引き続き、費用対効果の最大化を図りながら、職員一人一人が主体的に学び、成長できる環境づくりを進めていく。





▲「あはれ」

## 芸術文化・チャレンジアートを更に身近に

まつざき ゆりこ  
松崎 百合子



**問** 本市芸術文化振興プラン策定の目的は

**答** 芸術文化に触れる機会を提供することで、より豊かな市民生活の創出とコミュニティによるまちづくりを目指している。

**問** 絵画、書道、生け花等の展示や、障がい者施設作品の展示・販売などのふれあいの場として市役所1階市民ホールを活用できないか

**答** 展示・販売などを行う場合、市民ホールが機能するための十分なスペースを確保できなくなることや通行の妨げとなる可能性もある為、現段階においては難しい。一方で、今後（仮称）防災危機管理センターの建設に伴い、新たな市民ホールを再構築する際に、使いやすく心地よく、利便性の高い空間となるよう検討を進めていく。

**問** まどかぴあでの「みんなのチャレンジアート展」の趣旨は

**答** 障がいのある方の芸術文化活動の振興や、社会参加の促進及び障がいのある方への市民意識の向上を図る目的で毎年開催している。

**問** 障がい者作品等の常設展示や販売情報の提供の場として、まどかぴあを活用できないか

**答** 芸術文化振興プラン作成時のアンケートでは、障がい者をはじめ子どもや高齢者、外国人などの芸術文化活動の充実を求める声が多く寄せられた。まどかぴあにおける障がい者アート作品等の常設展示や販売情報の提供については、基本的には芸術文化振興プランの方向性と合致する。実現に当たっては、運営方法等について検討していきたい。



「水しぶきをあげて走る馬」梅野雄佑 画  
— みんなのチャレンジアート展より —



# 避難訓練を実施しました!

議場にて1月20日に開催された臨時会終了後に、地震が発生したことを想定し、避難訓練を行いました。



揺れが収まるまで、シェイクアウト!  
姿勢を低く、頭を守って、動かない!



11月8日に議会報告会を開催し、  
**「おやのかいMIRAI」**と**「大野城手話の会」**の  
 2つの団体に参加していただき、意見交換を行いました。

## おやのかいMIRAI

子どもの発達や不登校など、子育てに悩みを持つ保護者で、情報交換などを行っています。

### いただいた意見

- 親が気軽に話せて悩みを共有できる場や、情報提供、学びの機会を作ってほしい。
- 困っている保護者のために、行政でも会の広報をしてほしい（学校でのチラシ配布等）。
- 子ども達が学校で安心して過ごせるよう、最大限の配慮がほしい（中学校での指導の工夫や、校内に教室以外の居場所を増やす等）。



## 大野城手話の会

手話に関心のある人が集まり、  
 手話の学習や聴覚障がい者との交流をしています。

### いただいた意見

- 手話についてもっと知ってほしい。
- 市民が手話に触れる機会を増やしてほしい・必要な情報は文字で表示してほしい。
- 災害が発生しても、(アナウンスが)音声だけでは気づくのが遅れる。
- 1人暮らしや高齢になった時に集まる場があると安心。



「おたすけ手めぐい」… 災害時に障がいのある方が意思表示やコミュニケーションを取るために役立つ手めぐい

# 議場見学会



11月1日土曜日、まどかフェスティバルに合わせて、市議会では議場見学会を開催しました。当日は12時から14時までという短い時間にもかかわらず、129名という多くの市民の方に来ていただきました。議長席などに座っての写真撮影や中学生模擬議会の動画などを視聴していただきました。



## 飲酒運転撲滅!



### 飲酒運転は、 しない! させない! 許さない!



12月19日 西鉄下大利駅



12月19日 ハンズマン駐車場

大野城市は、飲酒運転撲滅都市を宣言しており、市議会も飲酒運転撲滅街頭啓発キャンペーンに毎年参加しています。

# 作品介绍

## 短歌

- こんな日に甘えてくれてありがとう なんでもわかる猫つてすこい
- 孫の書く未完の短歌見つけたり つないで完成夏の思ひ出
- ていねいな便り書く時くもの赤ちゃん 這ひあがり来て私にさわる (若草 高名 穂さん)
- 乙金の宝満神社へまいります一病息災祈りの夜明け
- 御笠川 立待の月 四王寺山は妊婦のようです健康な子産みませ
- 山城のすそ野のまちに遊ぶ子らきようは館内ウオールクライミング (乙金台 泉 満夫さん)
- 寒風が 窓をたたきて 知らせくる ここにいるよと 君は夢にて
- 山高く 沁みいる流れ 河童橋 静かな世界 胸に刻みて (つじけ丘 松野直美さん)
- デイサービス 仲間と一緒 リハ体操 老の坂道 元気に登ぼりて
- 元気かな 疎遠になりて 兄嫁へ 共に九十才を過ぎ 長電話になりて (白木原 ミドリさん)
- おはようと 胡蝶蘭へ ごあいさつ 4本の花芽 日々楽しんで (乙金台 小野敬子さん)
- 白無垢も 歳月重ね 和み色 互に頼り合い 文字人の如し (乙金台 小野敬子さん)



(白木原 ミドリさん)

## イラスト

## 川柳

- 天空やおとがな台へおいでませ
- おとがな台へのぼりくだりの一万歩
- 坂のまちバス曲がり来て手をあげて (乙金台 泉 満夫さん)
- 膝はどう? 挨拶がわりの散歩道
- クリスマス 街のイルミに引き込まれ
- グループ名 一個も覚えぬ 年明け (大城 山田三子さん)
- なごり雪美しき乙金一丁目 (乙金台 泉 満夫さん)
- 思ひ包みて断捨離外は霏霏の雪 (乙金台 泉 満夫さん)
- 中洲の灯川面は静か冬の川
- 池の鴨視線が合へば親しかり
- 子供会餅つき体験枠重し (牛頸 西山光教さん)
- 河惜夜に 心踊るは 冬の空
- 足痛む 廻り見渡し 芒の穂
- 色褪せる 幼き日々と 舞う紅葉 (つじけ丘 松野直美さん)

## 作品掲載希望者募集

- 募集作品
  - ・俳句・川柳・短歌・写真・イラストなど
- 応募方法
  - 住所、氏名、電話番号を記入して、議会議務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号 Tel. 580-1938

みなさんからいただいた作品をそのまま紹介します。今回は11月～12月に募集した作品です。

- 注意事項
  - ・未発表のものに限ります(新カナ、旧カナは問いません。)
  - ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
  - ・提出された作品は、返却しません。
  - ・ペンネームでも可とします。
  - ・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。あらかじめご了承ください。



応募締切  
5月15日号  
掲載は  
3月13日  
まで

小・中学生からの応募もお待ちしております

## 広報委員会

- 委員長 河村 康之
- 副委員長 中村 慎一
- 委員 森中 和真
- 委員 中村 利真
- 委員 永河 利真
- 委員 河野 一子

## あんてな

選挙年齢が18歳以上に引き下げられて今年で丸10年。この間、補選を除く国政選挙は8回を数えます。福岡県内では昨年の参院選で18、19歳の投票率が前回比で約10ポイント増えたそうです。各党が交流サイト(SNS)での発信を強めたことが一因との見方もあります。選挙は、私たち一人ひとりの声を市政に届ける大切な機会です。子ども達や高齢者の安全、暮らしの安心、地域のつながりなど、身近な課題は投票によって未来へ反映されます。住みよいまちであり続けるためには、候補者の考えに耳を傾け、自分の意思で判断することが重要です。一票に思いを託す行動が、地域の未来を支える力となります。まちの未来のために投票へ行きましょう。(中村真一)